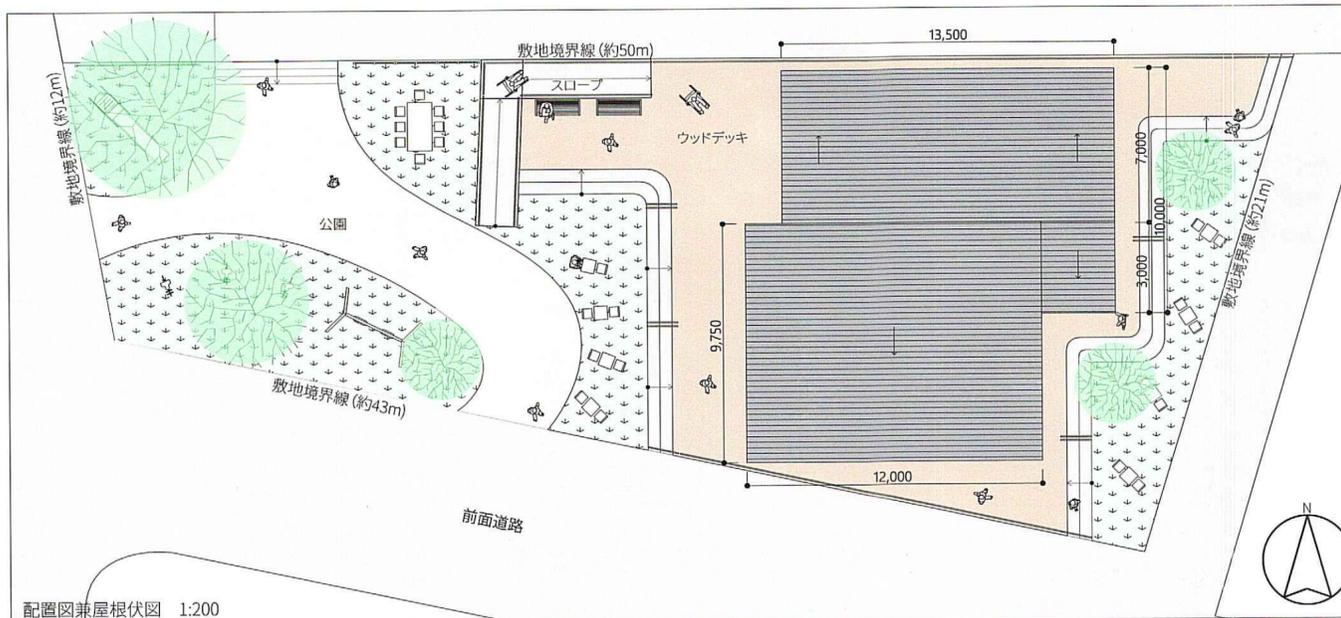


# 大阪府営吹田桃山台住宅集会所 緑樹の社交場



S-209



配置図兼屋根伏図 1:200

## 設計趣旨①

日々の暮らしの流れの中に静かに存在し、人と人との関係を支えるような集会所を計画しました。平面構成は非常に単純で集会所を核に湯沸室や倉庫、トイレといった必要な機能をまとめることで利用者が迷わず空間を使えるよう配慮されています。これは初めて訪れる人や高齢者にとっても安心できる構成になっています。敷地の中央右側に位置する集会所は主要な構造部に木材を多用することで、木々の温かみや脱炭素社会の実現に向けた公共建

築物における木材利用の促進方針にも適しています。玄関やエントランスは大きな空間を設けず、外部から集会所へと自然につながるつくりになっています。また、玄関とエントランスのレベル差を小さくすることで車いすの方や体の不自由な方も安心です。トイレや多目的トイレは玄関近くにとりまとめ、集会所を経由しなくても利用できる動線とすることで短時間の利用や、年齢・身体条件の異なる利用者にも対応しています。



## 設計趣旨②

湯沸室は入口をエントランス側と集会所側からの計2つに分けることで湯沸室への動線をスムーズにしています。また外部へつながる窓を設けることで、東側の広場に設置した、折り畳み式のテーブルとイスの利用者への円滑な飲食物の受け渡しが可能となっています。押入には折り畳みの椅子や長机、かたいフローリングが苦手な高齢者に向けた座布団等が収納されています。押入は膝程りの高さになっているので、上部に腰掛けたり、荷物置き場にしたりと様々な使い方が見込めます。また大半の壁が腰壁であるの

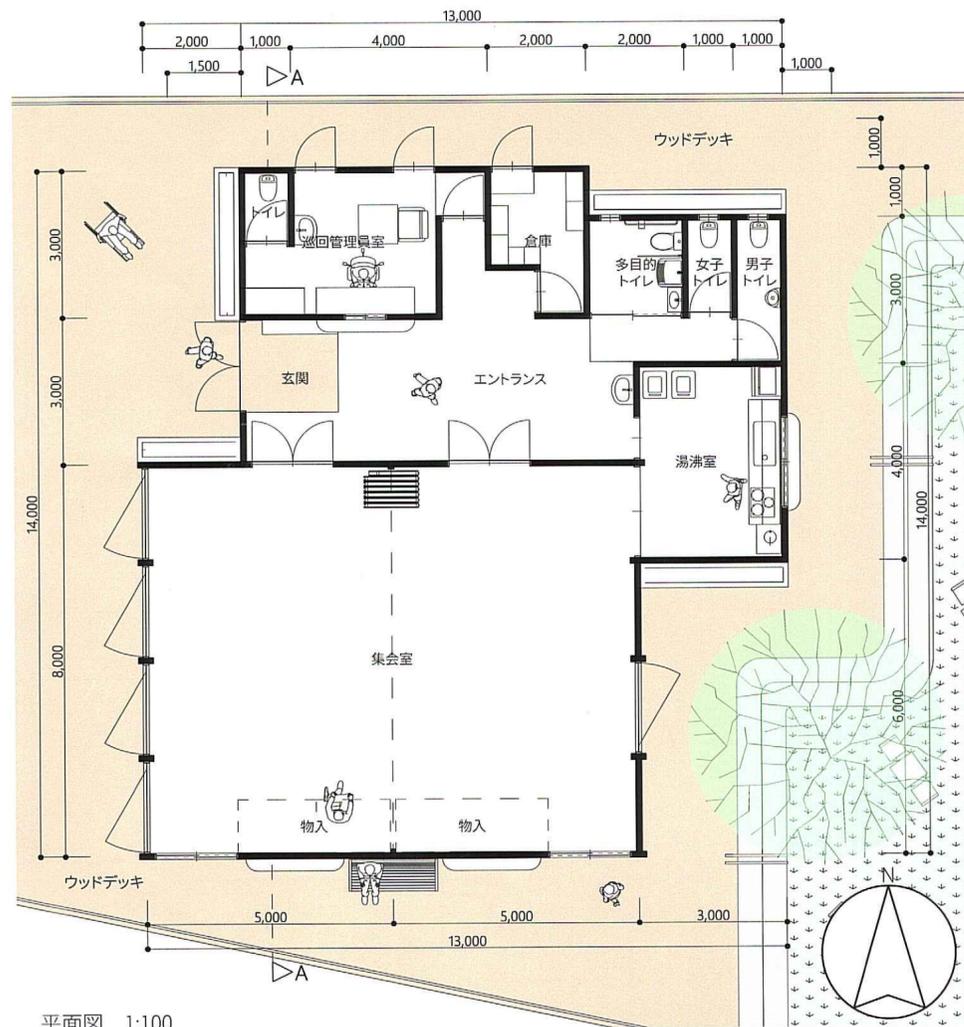
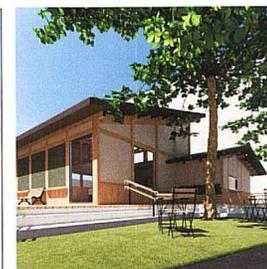
で大きな開口部で外部からの光や風を取り入れつつもプライベートの確保に成功しています。床にはフローリングを使用し、これまでの集会所で行われていた室内運動や室内遊戯にも幅広く対応しています。押入には折り畳みの椅子や長机、かたいフローリングが苦手な高齢者に向けた座布団等が収納されています。押入は膝程りの高さになっているので、上部に腰掛けたり、荷物置き場にしたりと様々な使い方が見込めます。また大半の壁が腰壁であるの



## 住民へのメッセージ

建物の前後には、緑のある外部空間と、子どもたちが安心して遊べる公園が広がっています。集会所はその公園に寄り添うように配置され、外で遊ぶ子ども達の気配や、季節の移ろいを身近に感じながら使える場所となっています。屋外には、イスやテーブルを設け、散歩の途中で一息ついたり、子どもを見守りながら話をしたりと特別な目的がなくても自然に滞在できる場をつくっています。建物を利用しない時間でも、この

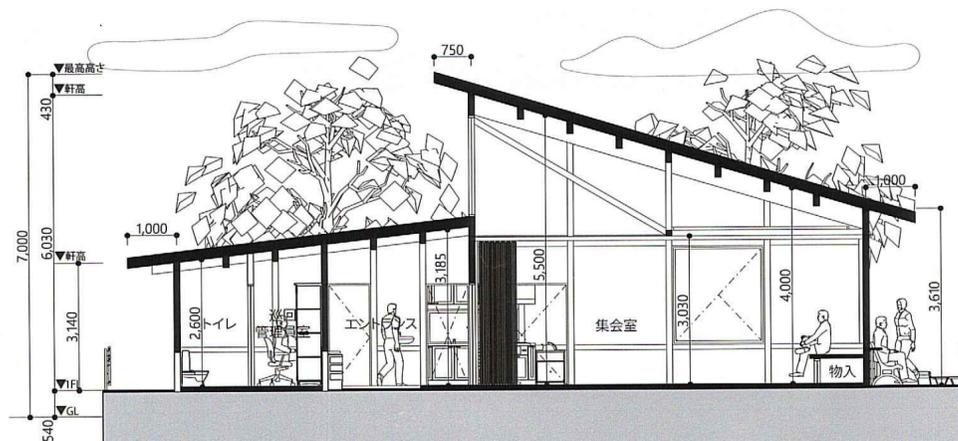
場所が地域の居場所として使われることを意図しています。建物の中心となる集会所は、屋外での活動と切り離された閉じた空間ではなく、外の自然や人の動きと緩やかにつながる場所です。また、敷地内には段差を解消するスロープを設け、車いすの方や高齢の方、ベビーカーを利用する方でも、年齢や身体条件に関わらず、誰もが同じ動線でこの場所にアクセスできることを大切にしています。



西立面図 1:100



北立面図 1:100



A-A断面図 1:100



室名	面積
集会所+物入	80.00㎡
湯沸室	12.00㎡
玄関+エントランス	29.00㎡
巡回管理員室+トイレ	13.00㎡
倉庫	5.00㎡
多目的トイレ	4.00㎡
女子トイレ	2.00㎡
男子トイレ	3.00㎡
合計	148.00㎡

構造・構法
木造/SE構法トラス構法 基礎/べた基礎
外部仕上げ 屋根材/ガルバリウム鋼板 外壁/窯業系サイディング

平面図 1:100